

(8) 小石原川ダム（福岡県東峰村）

◆実施主体

福岡県東峰村（その後、東峰村ツーリズム協会）

◆水源地域活性化調査時の活動内容

①水源地域活性化プロジェクト委員会の運営

- ・水源地域活性化の推進母体として「水源地域活性化プロジェクト委員会」を設立し、東峰村の魅力・課題の把握と具体的な活動について協議・実践。
- ・メンバーは事務局 2 名と、地域内の若手 10 名（男性 5 名、女性 5 名）。

②東峰村の魅力調査

- ・活動の方向性を探るため、東峰村の強み（資源）、弱み（課題）をテーマに東峰村の魅力を活かすための方策や課題への対応を協議。

③モニターツアーの実施

- ・東峰村の魅力を都市住民に知ってもらうためのモニターツアー「東峰見聞録：東峰村でおいしい時間・秋」を企画・実施（ツアー参加者 18 名）。

④ホームページ作成

- ・東峰村の観光情報を発信するホームページの立ち上げを目的に、委員有志の研修受講、専門業者の支援によりホームページを立ち上げ。

◆地域の関わり

小石原川ダム水源地域において実施された水源地域活性化調査は、「行政」が中心となり、「小石原焼陶器協同組合」、「地元企業」、「都市住民」の 4 主体が連携して実施しました。その後、行政が実施していた内容を「東峰村ツーリズム協会」が引き継ぎ、活動を継続しています。

各主体の役割分担

	指揮者・リーダー	起案者・発案者	専門家・助言者	宣伝者	事務者	支援者・後援者	同好の士・同調者
行政	△	△		△	△		
東峰村ツーリズム協会	○	○		○	○		
小石原焼陶器協同組合						●	
地元企業						●	
都市住民							●

●水源地域活性化調査以降も継続
 △水源地域活性化調査以降は撤退
 ○水源地域活性化調査以降に参画

◆水源地域活性化調査以降の展開

水源地域活性化調査で実施した内容を踏まえ、活動主体として『東峰村ツーリズム協会』が設立されました。

東峰村ツーリズム協会では、モニターツアーの結果を踏まえた『観光ガイド事業』の実施や、観光情報サイト『東峰見聞録』の運営などを継続しています。特に、観光情報サイト『東峰見聞録』では、

Youtube を活用した小石原焼のコンテストを開催するなど、新技術を取り入れた取組を実施しています。

また、結婚活動支援事業や、環境保全活動（行者杉保全活動協力）など、新たな取組も推進しています。

◆課題

情報収集のための取材スタッフが不足しています。また、観光ガイドツアーを実施する際の外国人観光客の受入の対応を検討していく必要があります。

また、観光ガイドの実施にあたり、十分な知識と技術を持った観光案内人を育成する必要があります。

◆まとめ

小石原川ダム水源地域では、小石原焼をはじめとした「地域資源を活かした地域づくり」が発端となり、「地域住民（若手）」との協働や「担い手の育成」によって、「体験プログラムの開発」につながりました。

また、水源地域活性化活動を主体的に実施する活動組織の立ち上げが、積極的な情報提供や案内人の育成につながりました。活動組織の立ち上げにあたっては、地域活性化に対して熱い思いがあり、行動力がある若手を中心とすることで、これまで地域で実施されてこなかった活動に挑戦しやすくなる環境が構築されました。



小石原焼伝統産業会館



小石原焼窯元

活動の流れ (小石原川ダム)

